

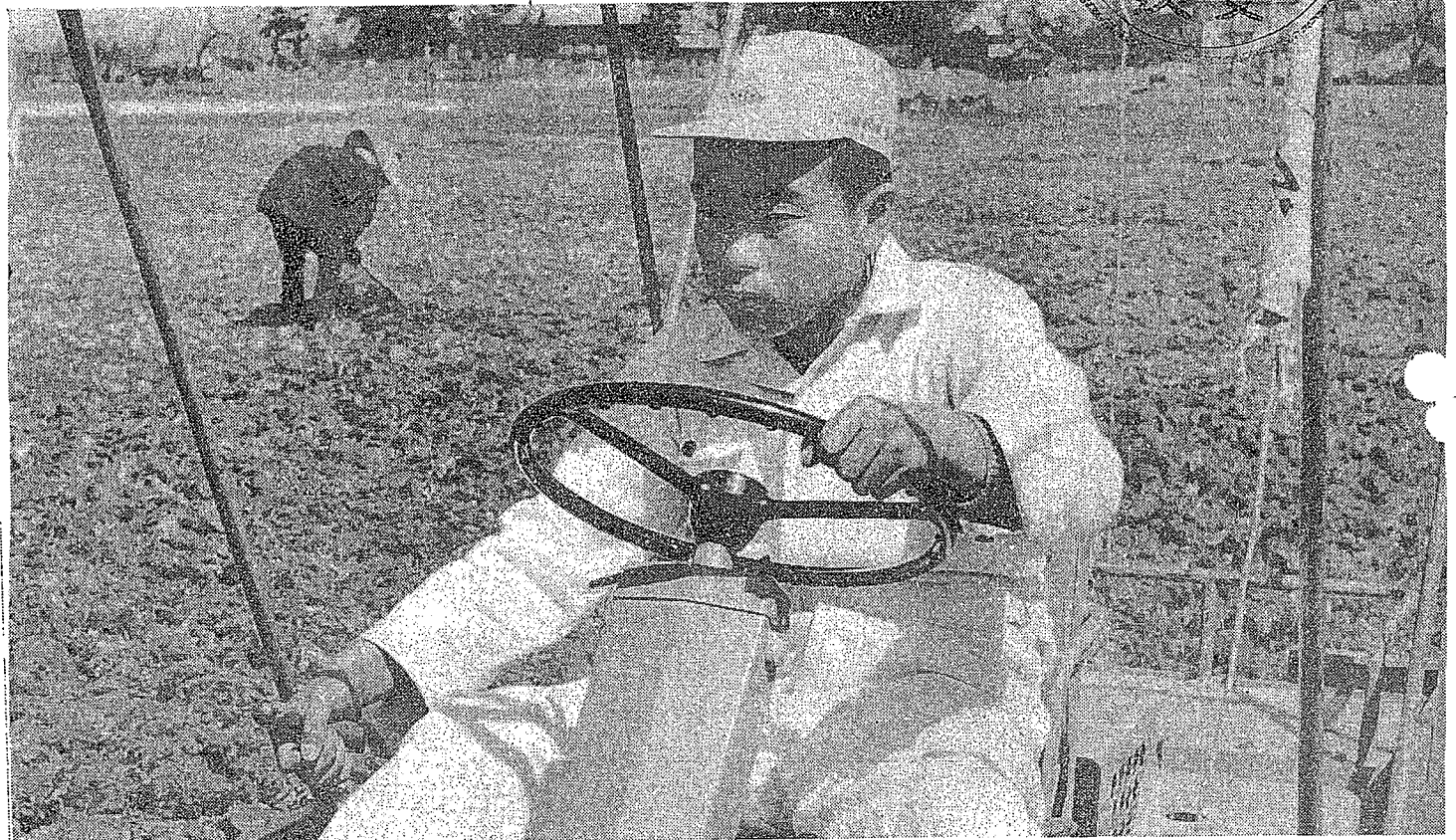
人口動態		
(3月1日現在)		
世帯数	21,731(+1)	
現在人口	100,388(+20)	
男	47,791(-5)	
女	52,597(+25)	
(1月中)		
出生	209件	死亡 83件
転入	239	転出 345
婚姻	70	離婚 8

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

132号



—神指町幕の内で—

毎月号綴つておきましょう

4月のメモ

四月の陽が黒い土にそそぐ時、
自然はゆっくりと力を生み出す。
若人の腕にも力がみなぎり
明日への希望がたくましくひらかれる。

季節の窓

1日～7日	緑化週間		
1日～31日	全国環境衛生運動		
1日～20日	交通安全県民総ぐるみ運動		
1日	午前9時半	第15工区々面整理事業落成式	東神指正法寺
1日	午後2時半	〃 説明会	東山分館
6日	午前10時	日赤女子奉仕団総会	市民会館
7日午	後6時～午後9時	会津市民オーケストラ演奏会	〃
7日	〃	世界保健デー	〃
7日～9日	午前9時～正午	第1回県営会津競輪(前節)	会津競輪場
10日	〃	農村振興協議会	市役所会議室
10日～16日	午前9時～午後3時	第14回婦人週間	〃
12日	〃	新農村建設事業検査	市会議室、施設各所
14日～16	午後6時	第1回県営会津競輪(後節)	会津競輪場
16日	午後5時～午後9時	会津労演第1回例会	市民会館
17日	〃	会津労音4月例会	〃
20日～26日	午後2時半	郵便週間	会津図書館講堂
12日	〃	古文書研究会	〃
24日～30日	午前9時～午後4時	予防接種普及運動	市会議室
25日	午前10時～午後2時	会津若松市採種組合総会	公民館
27日	〃	畜産友の会総会	〃
29～5月5日	〃	春の社会教育週間	〃

農事メモ

天気予想と稲作

今年の暖候期の予想により、昨年のような高温の持続は期待できないといわれており、とくに六月、七月の梅雨期は低温で不順な天候が予想されております。

従って高冷地はかなり入っており、晩生種は今年の場合危険であり、すから早生種にきりかえ、窒素肥料を控目に施用することが大切であります。

苗代期においても寒暖の変動が大きく、近年としてはやゝ不順に経過し、今の苗代管理には、今から万全を期し、苗の確保をはかるように心がけて下さい。

又霜害の発生もねんされておりますので、充分注意したいものです。

六月、七月は低温のため軟弱生育が予想され、八月は夏型の天気の見込みなので、病害の発生は多いと思われるので、病害虫の対策や栽培管理についても充分な体制をととのえておくことが必要です。

初秋の予想は未だあきらかなっていませんが、平年並に見込まれております。

はこう決りました

一般会計 約八億円の大型予算 五十三議案市議会を通過

今年度の予算を審議する三月定例会市議会は、三月十二日から三月二十八日まで開かれました。
三月十二日、市長の市政方針演説が行なわれたのち十五日に、一般質問が活発に行なわれ午前零時までも延々十八時間におよびました。
続いて提出された議案五十三件はそれぞれ各委員会に付託され二十八日の最終本会議で可決を見ました。

教育施設の整備など 第二期新市建設計画決る

第二期新市建設計画決る

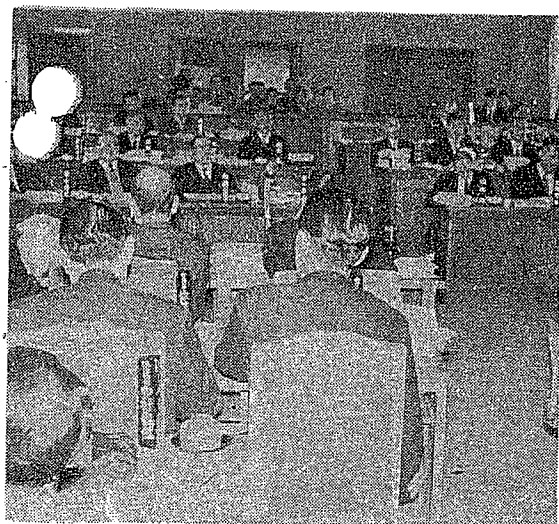
本議会に提出された議案のなかで本市の大きな今後の方向を示す新市建設計画の事業内容が決められました。
昨年六月新市町村建設促進法の有効期間が延長されたが、当市は建設計画を根本的に調整し、新たな都市建設と総合的な市政の発展のため計画を変更致しました。

市道に認定される

新たに市道に認定されました。今議会で決定致しましたものは次の六線です。
上荒久田石尻線
七、九〇〇メートル
上荒久田中の明線

市民会館の使用料が安く

市民会館の使用料が改正されました。変った主な点は、使用料が安くなり、また教育行政や公共団体の行う事業や行事は、今までより



(写真は本議会中の市会)

火災予防条例生る 複雑な火災発生のため

火災を未然に防ぐためこの議会で提出されたものに火災予防条例が決定しました。最近の火災発生の原因は非常に広範囲なものになって来ましたが、各家庭での石油、ガスなどまた工場などでは多くの化学薬品が使われていますが、危険物を火災予防のうえから、必要なこととがらを条例に定めて火災を防ぐ目的に生まれたい条例です。この条例の主なりきめは次の通りです。
1、公衆の出入する場所の指定。
2、火を使用する設置の位置構造及び管理の基準など。
3、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
4、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
5、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
6、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
7、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
8、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
9、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
10、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
11、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
12、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
13、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
14、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
15、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
16、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
17、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
18、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
19、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
20、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
21、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
22、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
23、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
24、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
25、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
26、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
27、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
28、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
29、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
30、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
31、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
32、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
33、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
34、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
35、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
36、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
37、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
38、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
39、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
40、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
41、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
42、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
43、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
44、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
45、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
46、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
47、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
48、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
49、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
50、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
51、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。
52、火を使用する器具、ロ、火を使用する器具の設置の位置構造及び管理の基準など。
53、火を使用する設備及びその使用に際し火災発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理の基準。

請願

今市議会に、請願が採択されました。

建議案

市道大井町東西線並びに東北線の舗装
市道大井町東北線は県立会津女子高校前通りから桂林寺町に通ずるものであり、最近、降雪、降雨、さいはた、泥路となるため、交通上、極めて悪いため、西線を早急に舗装を願いたいと云うものです。この請願は当然であると認められます。

三月の主な
あしあと

3月2日(金)
ブックモビルの名前決定。会津図書ではブックモビルの名前を「あしあと」と決定。
6日(火)
「あしあと」の決定。
10日(土)
「あしあと」の決定。
12日(月)
「あしあと」の決定。
14日(水)
「あしあと」の決定。
16日(金)
「あしあと」の決定。
18日(日)
「あしあと」の決定。
20日(月)
「あしあと」の決定。
22日(水)
「あしあと」の決定。
24日(金)
「あしあと」の決定。
26日(日)
「あしあと」の決定。
28日(月)
「あしあと」の決定。
30日(水)
「あしあと」の決定。
31日(木)
「あしあと」の決定。

定例市議会おわる

今年度予算も決る

歳入

大幅に市の

財源伸びる

昨年より一億五千四百万円余の増

今年の市の歳入は八億二千四百余万円です。前年度に比べますと約一億五千四百余万円の伸びと云う大型予算になりました。市税などを始めその他の財源に伸びが見られ、当市の総合的な発展を如実に物語るものです。

市税

市税の総額は四億五千八百余円で、この主なものは、市民税約一億八千七百余万円、固定資産税約一億八千二百余万円、たばこ消費税は約四千四百万円、電気ガス税約三千一百万円、鉱産税約千五百万円、木材取引税約六十四万円、入場税約五百六十七万円になっております。

地方交付税

地方交付税は昨年度より大幅に増し約七千万円が予定されました。

公営企業及び財産収入

主な収入は財産収入で貸地料や出資金、配当利子など約一千一千万円です。また財産売却代金十千万円になっております。

分担金及び負担金

分担金及び負担金の収入の主なものは保育料などであり、これは道路舗装などに寄せ

使用料及び手数料

この内容は住宅使用料、火葬場、市民会館、スポーツ施設の使用料など約二千三百七十七万円になります。また、手数料は約四百四万円です。また証紙収入は約三百三十三万円、戸籍手数料、住民登録手数料、証明手数料などとなっております。

国庫支出金

国から交付されて来るお金で、道路新設や教材及び学建築、社会福祉または住宅などでの交付金は昨年度より約二千九百万円増加しております。

県支出金

前年度より減少しておりますが昨年度は国庫のためプール、改築費に支出があったため、今年は経常費のみにかぎられたためです。

寄付金

これは道路舗装などに寄せ

活力溢れる今年の歳出予算 進む市政の整備事業

今年度の当初予算に計上されました、八億二千四百余万円は、本市にとりまして初めての画期的な予算であります。今年度は市政発展の飛躍する年になりそうです。市民待望のし尿処理場の建設や、また、都市計画事業で毎年の台風による出水に備えて排水路の整備などまた近代都市の歩む都市整備事業として墓地公園施設や、下水道の調査あるいは中央幹線への促進費など、本市の開発をさらに、強力にするため開発公社の設置など、数多くの事業が見込まれております。また学校教育施設の整備も当初予算では教育施設にはプールや、城北小学校などです。

着実に計画を進める

企業化される農政

今年の農政は、今までにならぬ曲り角に、農業と云われ、開拓して多年その

雑収入

これは中小企業機械貸付とか中小商工業近代化設置貸付などの他の市営葬儀による収入などです。

市債

市が国から借入れるものでこの主な事業内容は消防施設整備事業、城北小学校建築、また住宅などの建設費、し尿処理場などの建設費などです。

歳入

種別	本年度予算額	%	前年度予算額
1. 市税	458,886,160	56.8	365,324,100
2. 地方交付税	70,515,000	8.7	48,000,000
3. 公営企業及び財産収入	10,439,900	1.3	7,430,200
4. 分担金及び負担金	3,852,800	0.5	3,820,400
5. 使用料及び手数料	31,582,000	3.9	24,884,000
6. 国庫支出金	129,678,900	16.0	100,198,200
7. 県支出金	41,687,600	4.4	38,780,700
8. 寄附金	4,166,600	0.5	2,827,600
9. 繰越金	1,000	—	1,000
10. 雑収入	31,286,200	2.7	46,985,900
11. 市債	42,000,000	5.2	29,000,000
(繰入金)	—	—	2,147,900
歳入合計	824,096,160	100	669,400,000

路の開発が望まれており、またが本年度より、開発事業に入り、(予算七百円余)また二階地林道開設事業(八十九万四円余)予算が組まれ、僻地開発の意欲が示されております。

政策

中小企業への振興策もまず商工面では、商店経営診断委託料二十万円が計上され、本市商店について調査を進めるほか、本市の伝統産業である漆器界に技能補導所運営を委託するのが目立っております。

その他中小企業の振興のためには大幅な予算が組まれております。

し尿処理など

ごみ回収に新車も保健衛生費の今年の特色、

市政だよりの時間

NHK 第1 毎週火曜日 午前11.55分 (おひる5分前です。)

ラジオ福島 毎週金曜日 午前9.30分

固定資産税 軽自動車税 を納めましょう

場所 市金庫
納期日 4月25日まで

第一期分
全期分

37年度当初予算

は小児マヒ予防接種費と
ごみ回収車の購入費などの
他、今年度のし尿処理場の
建設費が主なものです。

鶴ヶ丘の改築工 事進む

本年度の社会及び労働施設
費は、昨年度に比べまし
て、二千四百万円増であ
りまして、社会福祉施設な
ど多くの福祉事業へ大幅な
予算が組まれました。青少
年問題、社会事業費など
鶴ヶ丘の改築工事費が主な
ものであります。

開発の意欲みせる企画課

自動車教習所の開設など

本市の都市建設事業は県下
一でありまして、今年度より
始めます後期五ヶ年計画は
議会で正式に決定致しまし
た。

天守閣再建費も

繰出金で

また本市の都市計画の最も
難題とも云われます中央幹
線道路建設促進費が組まれ
また先に名古屋市などで成
功を示しました公園緑地化
は本市でも以前から計画さ
れておりましたが今年度の
調査費が組まれ、多年懸案
でありました公園緑地の建
設に入る第一年度になった
のです。また二級国道宇都
宮、米沢線の道路開発にも
力を入れる予算も組まれま
したが、これらの事業は企
画課で見て計画に当るわけ
ですが、本市発展のボイン
トでもある企画課の活躍が
各方面から期待されます。

開発公社の設立

本市の総合的な開発が更に
強く望まれる今日、市と表
裏一体の立場で、土地造成
や各種産業施設を、機敏に
能率的に進めるため、今年
度、新たに開発公社を設
ける計画ですが、その出資
金として三百万円が予定さ
れました。

予算は一億
一千九百余万円

教育予算も昨年度より最も
大幅な予算が組まれ約三千
万円余が増加しており、学
校施設などともより、研
究委託料なども新しい面
で、図書館の文化センターの設
置など、またプール建設費
公民館一貫分館の建設など
小学校の建設は城北小学校
の改築費二千三百万円にな
っております。

交通安全対策費

本市も交通安全には、先に
安全都市を宣言しています
が、交通安全を建設するた
め、約三十万円が組まれま
した。

議会費

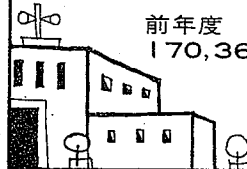
25,995,800
前年度 17,369,000



824,096,160円は
こう使われます

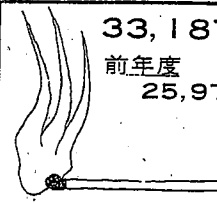
市役所費

200,983,300
前年度 170,363,300



消防費

33,187,000
前年度 25,976,600



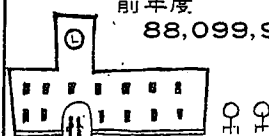
土木費

36,773,700
前年度 47,893,500



教育費

119,411,300
前年度 88,099,900



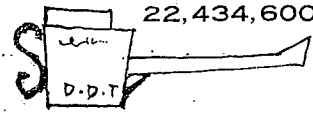
社会及び 労働施設費

158,467,500
前年度 134,157,300



保健衛生費

72,744,460
前年度 22,434,600



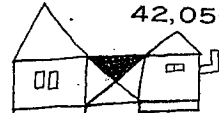
産業経済費

47,313,600
前年度 27,529,500



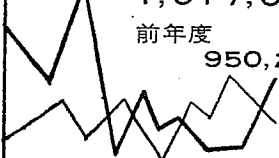
財産費

43,763,200
前年度 42,050,700



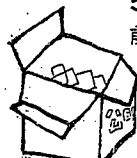
統計調査費

1,017,000
前年度 950,200



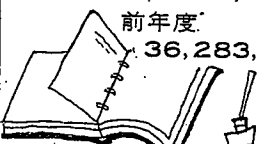
選挙費

5,316,100
前年度 4,664,100



公債費

36,792,600
前年度 36,283,100



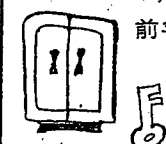
諸支出金

39,330,600
前年度 48,628,200



予備金

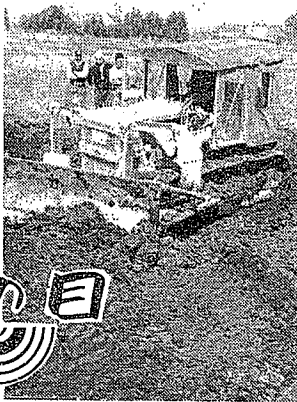
3,000,000
前年度 3,000,000



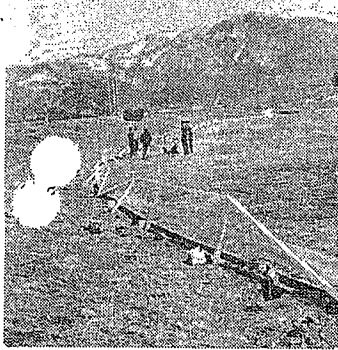
昨年11月565万円で購入した市のフルトラーは冬期間の交通に大いに活躍しましたが雪も消えた現在は林道開発、土地改良、宅地整備など多方面にわたり大きな力を見せています。

なにしろ80馬力ですから1日の実働作業時間を6時間としますと、3反歩も整備されます。

使用料は1日1万5千円ですが、農政課では数人共同で申込まれると負担金も少なく作業能率もぐんと上って便利ですからどんどん利用して下さいと係の話です。



カナラ

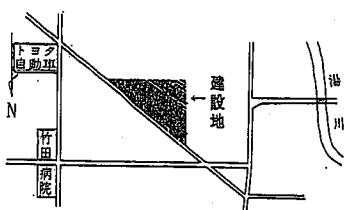


陸上競技場にガードレール
写真をご覧のように、今度陸上競技場にガードレールを新設しました。これは道路などに取付けられていますが夜間でもわかる便利なものです。

総工費22万円で工事は2期に分けて行いますが、今まで大分痛みもはげしかったため全国でもめずらしい方式を取り付けたものです。

戸数 十七戸
前納自己資金 約四十万円
住宅公庫借入金 約四十万円 (十八年間月賦償還)
申込期間 四月十日迄
工事完成予定 十月一日
申込先 財団法人福島県住宅公社

建設地
会津若松市栄町宇川原
町口
建物の種類
屋根鉄板瓦棒葺木造平家
建坪十五坪 (六帖二間、四・五帖一間他玄関、プロ場、台所、便所)



広報板

国民健康保険証
有効期限がのびました
現在みなさまのお手もとにありませんか？健康保険証の有効期限がのびました。三月三十一日までとなつております。

引揚者給付金の請求は5月16日までです
終戦後外地から引揚げてきた方(南洋群島を除く)の給付金は今年の五月十六日で期限満了となりますので、まだ請求書を出していない方は、はやくに市社会課で手続をして下さい。

戦傷病者の無賃乗車証明書及び引換証の申請など事務取扱は、今まで市役所で取扱ってききましたが、四月一日以降は傷痍軍人会(通寺町八七、逸持治さん方、電話一、二七八番)で取扱うことになりましたのでお知らせします。

36年度「国民年金保険」

四月末日まで納めて下さい

国民年金保険料を納入し、検認をうけるこの納入については、納入したことに三月限りでした。市役所においでの際は忘れなく手帳をもち参下さい。

その整理に非常に困却して、今年の五月になります。昭和三十六年度分の徴収は、市役所から離れてその分の納入は国に移管されることになり国から現金徴収されます。

ご存知のとおり年金保険料は手帳持参の上、市社会課または支所出張所で印紙布、延滞金及び延滞加算金

納入し、検認をうけるこの納入については、納入したことに三月限りでした。市役所においでの際は忘れなく手帳をもち参下さい。

その整理に非常に困却して、今年の五月になります。昭和三十六年度分の徴収は、市役所から離れてその分の納入は国に移管されることになり国から現金徴収されます。

ご存知のとおり年金保険料は手帳持参の上、市社会課または支所出張所で印紙布、延滞金及び延滞加算金

場合により税制滞納処分です

等も当然免れず、最悪の場合税制滞納処分をうけることになり、かならず完納されるようご注意ください。

家を建てたい人に

分譲住宅の仮公募

希望者は至急申込を

保険税の課税は

第一期・第二期分を早く納めて頂くために

今年度の国民健康保険税を、市民の皆さんから納めていただきますが、昨年度からこの保険税の納入方法が変更しております。

つまり国民健康保険税を納めて頂くには何を対象に行うか？と申しますなら市税(市民税・固定資産税)をもとに保険税の額がきまるのです。そこで市税の今年度分の課税事務は6月までかかりますので保険税の第一期(4月)と第二期(6月)の保険税は暫定税額によって納めて頂くのです。つまり前年度の保険税額(36年4月～37年3月)をもとにその総額の6分の2に当る額がこの暫定税額(4月分と6月分)となるのです。第三期(8月)から今年度の保険税を納めて頂くのですがこの第三期に第一、二期に納められたものが調整されるのです。

例えば
前年度の保険額が6,000円の方は、次のような計算になります。

$$6,000 \text{ (前年度保険額)} \times \frac{2}{6} = 2,000 \text{ (暫定賦課額)}$$

納付額は、第1期(4月)1,000円 暫定
第2期(6月)1,000円 暫定

更に本決定に於て、37年度保険額が8,000円と決定した場合、第3期以後に納付する差引税額は次の通りです。

$$8,000 \text{ (37年度)} - 2,000 \text{ (暫定)} = 6,000 \text{ (差引税額)}$$

納付額は、第3期(8月)1,500円 本決定後
第4期(10月)1,500円
第5期(12月)1,500円
第6期(2月)1,500円

※納期限は各期とも25日です。

会津若松市を緑でうめつくそう

会津の森林資源は国の繁栄と産業の振興に大きな働きをしています。しかし会津の山を常に緑でうめつくすことは私達の使命でもあります。国の発展のため、私達の繁栄のため、一本でも木を植えて育みましょう。

この運動に協力しよう

春期、緑化強調期間
緑の羽根募金期間

4月1日～5月31日まで
4月10日～4月19日まで
4月10日～4月19日まで

2ヶ月間
10日間
10日間

